

【解答】

(1) (例) 例えば、高コンテクスト文化の会議における沈黙は、必ずしも理解不足や不賛成を意味するわけではない。それは敬意、深い思考、あるいは礼儀正しい不賛成を示しているかもしれない。(2) エ (3) ウ (4) can effectively minimize cross-cultural misunderstandings and build stronger relationships (5) ア

【全訳】

インターネットと海外旅行の急速な成長に伴い、私たちはかつてないほど世界中の人々をつながりを持っています。異なる文化の人と話しているときに、誤解を経験したことはありますか？たとえお互いに英語を流暢に話せたとしても、コミュニケーションスタイルの違いが混乱を招くことがあります。人類学者のエドワード・T・ホールは、これらのスタイルを主に「低コンテクスト文化」と「高コンテクスト文化」という2つのカテゴリーに分けました。この概念を理解することは、今日のグローバル化された社会で成功するために極めて重要です。

アメリカ、ドイツ、スカンジナビア諸国のような低コンテクスト文化は、明確な言葉によるメッセージに大きく依存しています。歴史的に、これらの国々は様々な背景を持つ多様な人口を抱えていたため、人々は常に共通の前提（常識）に頼ることができませんでした。それゆえ、彼らは直接さと明快さを重視します。彼らは、優れたコミュニケーションとは、自分が意図していることを正確に言うために正確な言語を使用することだと信じています。例えば、低コンテクスト文化におけるビジネス契約は、将来の混乱を防ぐために、あらゆる細部まで明記されます。コミュニケーション成功の主な責任は話し手にあり、話し手は明快で論理的でなければなりません。

(A：他方で)、日本、中国、そして多くの中東諸国を含む高コンテクスト文化は、非言語的な手がかりや人々間の共有された理解により依存しています。これらの文化はしばしば、長く共有された歴史と、より単一的な人口を持っています。このような環境では、意味の多くは言葉を通してではなく、話し手の声のトーン、表情、さらには座席の配置といった周囲の状況を通して伝えられます。(1)例えば、高コンテクスト文化の会議における沈黙は、必ずしも理解不足や不賛成を意味するわけではない。それは敬意、深い思考、あるいは礼儀正しい不賛成を示しているかもしれない。これらの文化の人々は、個人の意見よりもグループの調和を重視することが多く、不快感を与えるのを防ぐために直接「いいえ」と言うのを避けるかもしれません。

これら2つの異なるタイプの文化の人々が交流するとき、頻繁に誤解が生じます。アメリカ人のマネージャーが日本人チームにプレゼンテーションをしていると想像してみてください。アメリカ人は非常に直接的で、即座の明確なフィードバックを期待するかもしれません。しかし日本人チームは、聞いていることを示すために礼儀正しくうなずきつつも、後でグループとしてその件について話し合いたいため、黙っているかもしれません。(2)アメリカ人のマネージャーは、この沈黙を「完全な同意」あるいは逆に「全くの無関心」だと誤解してしまうかもしれないのです。

これらの明確に異なるコミュニケーションスタイルについて学ぶことは、異文化間交流を成功させるために不可欠です。低コンテクスト文化の話し手にとって、高コンテクスト文化の状況で「行間を」読むことを学ぶことは必要です。逆に、高コンテクスト文化の話し手は、低コンテクスト文化の環境で交流するとき、自分の考えや懸念をより直接的に表現するように努めるべきです。(3)これらの違いを理解し適応することによって、私たちは(異文化間の誤解を効果的に最小限に抑え、より強い関係を築くことができる)のです。

[公式サイト：<https://study-support.net>]

※本教材の無断転載・再配布を禁じますが、個人利用・学校・塾での配布は自由にご活用ください。